

節分が終わって2月9日からの一週間、すごく寒かったです。一月下旬から始めた朝のウォーキングも思わずめげそうになりました。頑張っていると、今週は背中に汗をかくくらいの日和です。2/18 藤井

こだわりすし屋さん専門・海苔のことならならお任せください。

今シーズンの海苔の生産状況

9月から始まった今シーズンの海苔の生産はピークを越えました。

11月17日に仙台を皮切りに始まった海苔の入札会も全国各地で74回終わりました。(2月18日現在)

順調に生産が続いたとしてもあと45回を残すのみです。

最終の生産枚数の予想も、不作だった昨年をさらに下回るのではないかと危惧される状況です。

この後、高級な海苔は兵庫県で少し生産されますが、今年は最後まで高値相場が続くそうです。

当店は、11月末に始まった有明海の入札の相場が例年より高く始まったところで、その後の相場の上昇を見越して見付けより入札価格を上げて買付し、良いものを確保いたしました。ご安心ください。

節分、恵方巻き

セブンイレブンが数年前に節分の「恵方巻き」と命名して以来、あつという間に「恵方巻き」という呼び名が全国的に定着いたしました。

今年は、2月3日の火曜日が節分に当たり、多くの売り場で「恵方巻き」が売られていました。変わったところではパンやロールケーキなど、口に入るものでロール状にできるものは何でも「恵方巻き」です。

そんな中、お天気や曜日のめぐりにも恵まれて、お得意様でも忙しかれたところが多かったようです。お疲れ様でした。夕方には製造が間に合わなくなったというお店もあったように伺っております。



河昌女将、須磨水族園で「のり漉き」初体験しました

2月8日(日)、すま浦漁協さんの協力で須磨のりの養殖風景を見学してまいりました。一般のお客様20名とともに漁場と加工場を見学しました。参加者には「貴重な体験できた」と喜んで頂きました。

そのあと、須磨スイで女将念願の「のり漉き」初体験・・・

さて、でき上がりは!?



今後、食材はどうなるのか?

最近、食材の価格が軒並み値上がりしています。

例えばガリ生姜、従来ガリ生姜の原料であったものが、青果などで販売されるフレッシュ生姜に回っているようで、品不足に輪をかけています。また、世界的な異常気象も中国のガリ生姜の産地に洪水をもたらした生産に影響したという情報も・・・

コンビニとスシローの動向

さて、最近コンビニのおにぎりに使われる海苔の質が随分上がりました。特に、セブンイレブンとローソンは入札会でも強敵です。

今年の相場をここまで押し上げているのはコンビニのバイヤーです。

また、スシローもバカにできなくなってきました。

2貫100円の皿はたいしたことありませんが、「吟味ネタ」と呼ばれる1皿1貫180円のネタや1貫100円のものでも随分美味しくなりました。



研究の余地あります。

自宅近くのさくら夙川のローソンの隣にセブンイレブンが工事中です。

【発行者プロフィール】

株式会社河昌 代表取締役
藤井 昌治 (ふじい まさはる)
生年月日: 1955年12月16日生まれ
出身地: 大阪府東大阪市
趣味: 夫婦で映画、ひとりで読書

経歴: 大阪市立大学→シャープ→河昌
打ち込んできたもの: バレーボール
家族構成: 妻潤子、長女望、長男智大、母佳子
モットー: 起承転

